



## 地域行事に参加すること

2月と3月には、潮見っ子が地域行事に参加する機会がたくさんありました。2月4日(日)に行われた潮見地区文化祭(公民館主催)、2月23日(金)の「みかん祭り」(JA城北支所主催)、3月10日(日)の「世代間交流会」(潮見地区社会福祉協議会主催)の3つの行事です。

「潮見地区文化祭」には、水軍太鼓部と金管バンド部の子どもたちが演奏をしました。また、5年生の有志が潮見音頭を参加者と一緒に踊りました。



5年生は、総合的な学習の時間に、潮見の宝ということで、残したいものの一つとして潮見音頭を調べた経緯があります。さらに、文化祭なので、大勢の子どもたちの書写や絵画の作品が展示されました。掲示には、PTAの方にもご協力いただきました。



「みかん祭り」にも、水軍太鼓部と金管バンド部が出演しました。祭りにふさわしい勢いと華やかさが演出されていました。発表の場が増えることは、子どもたちにとってやりがいのあることだと思います。



また、3年生の有志が、柑橘類の販売の手伝いを行いました。社会科でみかん農家の学習をしたり、みかん畑を見学したりしているので、そのつながりもあります。

「世代間交流会」では、地域の高齢者の方と一緒に、もちつきをしたり、レクリエーションをしたりしました。これには、4年生の有志が参加しました。4年生は、総合的な学習の時間に福祉体験を経験しているので、その学習とも関わりがあります。どれも貴重な体験をすることができました。



これらの3つの行事は、学校の教育活動に直接関わるものではありません。しかし、普段から地域の皆様に協力をしていただいていますので、少しでもそのお返しができればという思いがあります。地域行事が新しい形で復活する中、学校の関わり方も様々なことに配慮しなければなりません。年度当初から、「集い、対話し、高め合う学校」ということをお伝えしていますので、「地域の行事に参加し、地域の方々と話をしながら、よりよい学校づくり」に努めていきたいと思っています。

今回の行事に子どもたちが参加する機会を設定していただいた皆様、ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。